



集団健康診断受診者の増加へ向けた 医療機関と組合の取り組みのご紹介

協同ふじさきクリニック（川崎医療生協）の集団健診の新たな取り組み

クリニックの敷地に健診車を導入

4月23日(日)に集団健診を開催し、組合の声かけの協力のもと1日では過去最高の143人の実施となりました。受診者を増やすための取り組みについて紹介します。

これまで施設だけでは対応しきれなかった胃がん検診に対し、健診車を設置し、受診者の受け入れ数を増やしました。以前は1日11人までだった胃がん検診をこれまでの3倍まで増やすことが出来ました。



川崎医療生協機関誌6月号より

婦人科検診の受診者が増加

さらに乳がん・子宮がんの検診車も設置。当日に受診を希望される方もいるほどでした。

今回の集団健診では、女性24名受診された中、乳がん検診を22名(91%)、子宮がん検診を14名(58%)の方が受診されました。これまで川崎地域は、婦人科検診を受けられる医療機関が少なかったことから、受診率が低い傾向にありましたが、今後は受診機会が増えることで、婦人科検診の受診率アップが期待されます。

受診者皆さんからの声

「婦人科検診が以前は日曜日の検診にはなかったもので、同日に家族と一緒にうけられてよかった」

「気になっていたオプション検査を受けようかどうか相談することができた」
などの声があがりました。

さらに今後は日曜日のレディースデイ健診の開催

毎週火曜日がレディースデイとなっていますが、日曜日にもレディースデイを9月と2月に実施予定です。レディースデイでは、キッズルームを設け、保育士さんも配置されるため、子育て世代の方も安心して健診を受けることが出来ます。

